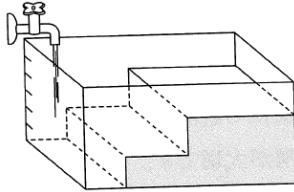
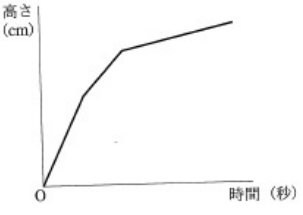
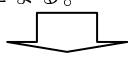


言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (大崎上島町立大崎上島中学校)

- ① 教科等 数学科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 比例と反比例
- ④ 本時の目標 水そうの水位の増え方の変化(直線の傾きの変化)について、グラフを基に考えることができる。
- ⑤ 学習の流れ (17時間目/全20時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
水そうに水をいれていくときの、時間と水位の関係を考えよう。		
1 直方体の水そうに一定の割合で水を入れるときの、時間と水位の関係を考える。 2 底が階段状の直方体の水そうに一定の割合で水を入れるときの、時間と水位の関係を考える。 ① 関係を表すグラフを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の割合で水を入れることが、水位が一定の割合で高くなることにつながり、2つの数量が比例関係であることやグラフが直線になることを理解させる。  <ul style="list-style-type: none"> ・3種類のグラフから選択させ、そのグラフを選んだ理由を発表させる。 	
② グラフをかき、どうしてそのようなグラフになるかを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水そうの図から、階段の3段階に分けて水位の上がり方が変化することを理解させて、その変化がグラフではどう表されるかを話し合い、説明させる。 底面積が2倍、3倍になるので、水位の上がり方が2分の1倍、3分の1倍になる。  <p>グラフの傾きが急 → くだらかに変化する</p>	
3 類似の問題を解く。 4 本時を振り返り、自己評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・底面積が3倍、6倍になる課題を提示する。 	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 水そうの形(容積の考え方)に着目して、時間と水位の関係について考え、直線の傾きの変化と関連付けて説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 既習事項である比例の考え方を活用して課題解決させるために、発展的な課題(2年内容につながる)に取組ませる。
- 水そうの図とグラフを関連付けて説明させることで、根拠や解釈を明らかにさせる。